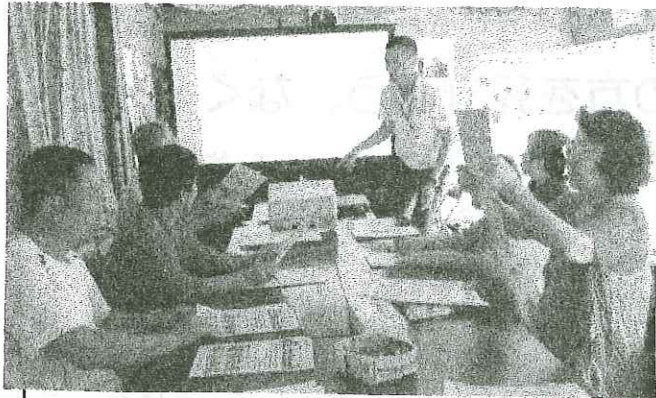


高齢者のやすらぎの家 やまね



防災をもっと知ろう

先般の広島のとどろき土砂災害は、とても信じられないくらい広範囲の被害と人災でした。避難勧告を出すのが遅れたことが指摘されています。

このようなことは、私たちが住む角野でも起こらないという保障はないと思います。9月26日 市の出前講座で防災安全課の高橋係長にお願いし、防災のことについて日頃私たちが聞きたいことや疑問に思っていることを中心に話してもらいました。

1) 災害時の避難勧告はどんなときに出されるのか。

前日までの連続雨量と当日の雨量さらにこれから予想される雨量によって決まる。

2) 避難先はどこか。

勧告が出た時点では、上部高齢者福祉センター（北内町）。

3) 災害情報は、防災行政無線放送、市のホームページ、電話応答システム（05-3797-2180）、水防本部（65-1349）などで入手できる。

4) 災害に備え日頃備蓄しておくこと。

だより46号

発行者 ボランティアグループ なの花

会長 森田 元治

発行所 792-0834 新居浜市中西 16-20

「やまね」Tel 0897 41-0104

発行日 2014. 10. 8

角野保育園運動会

9月27日 角野保育園の運動会があり、やまねにもご案内をいただきましたので、参観しました。

こどもたちの一生懸命の演技やかけっこに父兄や参観者から大きな拍手が湧き上がっていました。

運動会と言えば、かけっこです。1歳児のかけっこは、先生の付添でなんとも微笑ましいと思えました。また大きい組の玉入れは夢中になってかごに投げ入れていました。



アルミ缶やプルタブのご提供に感謝

福祉関係者や市民の皆さん、それに「やまね」に関係している多くの方からアルミ缶やプルタブのご提供を頂いていることに感謝申し上げます。

ボラフェス盛大に

10月5日 高木町のふれあいプラザで「生き生き幸せボランティアフェスティバル」が盛大に開催されました。

フェスティバルには、市内の福祉団体、ボランティア団体、医療団体、警察署などが参加しました。

オープニングでは、新居浜警察署の振込詐欺の劇、県警察本部の音楽隊やボランティア団体の演奏などがあり、参加者は聞き入っていました。

催しは、たこ焼き、いも炊きなどの飲食の出店や各団体が日頃から取り組んでいる物を展示し販売していました。

また、市内の保育園の園児の作品展示がありました。

やまねは、手編みのベスト、手編みのたわしや靴下カバー、レッグウォーマー、それに布ぞうりなどを展示販売しました。

終わり頃になって天候が崩れてびしょ濡れになりました。もう少し雨が待ってくれていたらと悔やまれます。



認知症になっても安心の町に

全国には、65歳以上の認知症の方は約400万人、軽い認知症の人は約460万人がいると報じられました。愛媛県には約5万人、新居浜市では約5000人いると推定されています。

徘徊の方を見守ろう、なくそう

認知症の方が行方不明になって、家族から捜索願が警察に出される場合、一刻も早いほうがいい。発見される率が高いとのことです。

家族が認知症の方がいることを、他に知られたくないとの思いで、情報を近所や関係者に発信されないことがあると聞きます。そのことが、後になって家族自身また関係者にかえって負担になることを考えると、最小限の情報は発信をされるのほうがいいと考えます。先般、認知症の家族会に参加し思った。

行方不明になった方の情報提供を求めている張り紙をときどき目にします。それを見ると、家族は大変だろうと思います。

とくに、徘徊のある方を家族だけで見るのには限界があります。

徘徊しても、その方が誰か分かるように、例えば名前や電話番号を下着や靴などに書き込んでおくことも早期発見につながるといわれています。

社協角野支部も取り組まれます

社協角野支部の平成26年度の事業計画で、「認知症高齢者ネットワークの構築」に取り組むことが総会で決まりました。

市政懇談会でも、角野支部の取り組みの支援を支部長から市長に要請されました。

9月19日、支部の研修が、伊予市中山町で認知症に関して先進的な取り組みをしている特養ホーム幸梅園でありました。町民全体が認知症を理解してくれるまでに10年かかったということでした。研修には「やまね」からも参加させてもらいました。大変参考になりました。